

お取引先さま各位

カカオ・チョコレート週刊ニュース 131号

2015/3/1 発行
株式会社 立花商店
西岡 あずさ

お世話になります。カカオ・チョコレート関連のニュースを前週の出来事の中から注目ニュースを5本前後ピックアップして、発行しています。カカオやチョコレート中心に取り扱っております弊社と致しましては、広く関係者の方々に読んでいただけるように、少しずつでも有益な情報をお届けできればと考えております。宜しくお願い致します。

1、市況の動き

① 最高：3月 LDN 市場£2048(2/24)/3月 NY 市場\$3082 (2/24) 先週比 **LDN +£10/NY +\$55**
② 最低：3月 LDN 市場£2000(2/25) 3月 NY 市場\$3024 (2/25) 先週比 **LDN -£5/NY +\$55**
週内価格差額 (①-②)：LDN 市場£48 (傾向↑) / NY 市場\$58 (傾向↑)
週内建玉推移：LDN 市場 254,384 枚(2/20 終了時)⇒264,970 枚 (2/26 終了時) **+10,586 枚**
NY 市場 191,244 枚(2/20 終了時) ⇒205,045 枚 (2/26 終了時) **+13,801 枚**

	2015/2/23(月)		2015/2/24(火)		2015/2/25(水)		2015/2/26(木)		2015/2/27(金)	
	LDN	NY	LDN	NY	LDN	NY	LDN	NY	LDN	NY
15-Mar	2042	3054	2048	3082	2000	3024	2019	3051	2035	3102
15-May	2022	3001	2030	3017	1987	3003	2008	2981	2026	3016
15-Jul	2002	2984	2011	2999	1972	2988	1994	2965	2011	2998

2、カカオ苗、害虫や病害に備え保全 (2/24)

400種以上のカカオ苗の保護、保全のために、100万ポンドを投じた専門施設がイギリスのレディング大学に設置されている。同施設は世界的なカカオ不足の予測から必要性が増してきている。

イギリス・レディングにある International Cocoa Quarantine Centre(ICQC)は、カカオ苗の収集と病害に対抗できるカカオの育種研究を行っている。

このことは、Kumasiにあるクアパ・ココ農家組合が発行した声明文に記されている。この声明文は、クアパ・ココ農家組合の秘書官 Appiah Kwarteng 氏と、農家組合代表の Emmanuel Arthur 氏が ICQC を訪れた際に発行されたものである。このクアパ・ココの2名の代表は、関係会社の Divine Chocolate 社の取締役会でイギリスを訪れ、ICQC メンバー代表の Andrew Raymond 氏と、カカオ研究協会の Michelle End 氏と過ごした。Daily Graphic 誌によると、カカオ苗は ICQC のグリーンハウスで検疫され、土を含まない砂や砂利、液体で育てられ、病害や害虫から保護する条件が維持されている。

ICQC のカカオ苗はガーナ農家や他の主要カカオ豆生産国、ベトナムなどのカカオ新興国に供給される、と声明文には記されている。

Raymond 氏は、今回の訪問がガーナのカカオ農家にとって、レディング大学でどのような研究がおこなわれているか、およびクアパ・ココが参画しているプロジェクトについてより深く理解する良い機会となったと話した。



International Cocoa Quarantine Centre

3、Mars 社、UK・アイルランドにおけるフェアトレードパートナーシップを強化(2/25)

Mars Chocolate UK 社とフェアトレード協会は、2015 年 10 月からイギリスとアイルランドにおけるフェアトレード商品『MARSBars』によるパートナーシップを強化する。

Mars 社はイギリスで初めて、新たなフェアトレードカカオ調達プログラムへの参画を発表した会社である。同プログラムは、カカオ農家にフェアトレード条件でカカオ豆を販売できる機会を増やし、彼らの生活の改善を支援するビジネスに結びつけることを目的としている。2009 年には、Mars 社は 2020 年までに全て持続可能な方法で製造されたカカオ豆を使用することを約束した。

イギリスにおける Mars 社の新たな取り組みは、2011 年に発表された同社の『MALTESERS』によるフェアトレードパートナーシップの成功と、2014 年の Mars Chocolate Germany 社の『TWIX』ブランドにより立ち上げられたフェアトレードカカオ調達プログラムモデルの上に成り立っている。Mars 社により、2016 年までに全体で年間 200 万ドル以上のフェアトレードプレミアムが西アフリカのカカオ農家組合に支払われることになるとされている。

Mars 社によると、これらの取り組みは彼らの「相互主義」から成り、すべてのサプライチェーンとの「相互利益」を生み出している。また、Mars 社とフェアトレードとのパートナーシップの強化は、農家第一とする共通の理念が根底にある。これはコートジボワールの農家組合と手を取り合う新たなアプローチで、農家は経済的・専門的支援を得られる。

このパートナーシップにより得られるフェアトレードプレミアムは、農家の生産量および収入増加につながる教育や肥料、生産量の改善や病害に対抗するクロープなどに投資される。

『MARSBars』向けにカカオ豆を供給する農家グループとのプログラムは 2015 年に始まり、Mars 社と国際フェアトレードラベル機構（FLO）はプログラムをさらに多くの西アフリカカカオ農家へ広げ、数年で Mars 社のフェアトレード商品全てをカバーするまでに拡大することを合意した。

昨年に発表されたレポートによると、Mars 社、Unilever 社、Coca Cola 社や Starbucks 社、Home Depot 社のような会社と提携しているプライベートセクターが、持続可能な（サステナブル）コモディティの市場での成長を支えている。かつては主にニッチ市場にむけて作られた商材と考えられていたが、フェ

アトレードやレインフォレストアライアンス、オーガニック等の商品が大衆向け市場において取引が増えてきている。

その他の Mars 社のニュースとして、同社は北アメリカにある 10 のすべての工場が現在 landfill-free（埋め立て不要）の認証を得たと発表した。2015 年までの『埋め立てゴミ・ゼロ』という同社の大きな目標達成への重要な一歩である。



4、コートジ：農家の収入増によりカカオへの投資すすむ(2/25)

政府により高水準の価格が定められたコートジでは、プランテーションの老朽化による不作を相殺するための肥料の購入が進んでいる、と卸売業者と農家は語った。

2012/2013 期に導入されたセクターの是正により、コートジのコーヒー・ココア協会は農家に最低価格を保障するため、クロップの前売りを進め始めた。

カカオのキロ単価は是正後第一シーズンの 725CFA フラン (\$1.25) /kg から 2013/2014 期には 750CFA フラン/kg に上昇し、今シーズンは 850CFA フラン/kg となっている。収入増により、農家はプランテーションに新たに費用を投じることが可能になった。「2013 年から比較し、少なくとも 15% の売上増が見込める」と Arysta LifeScience の西・中央アフリカ経済長官である Stephane Ouedraogo 氏。Arysta はコートジの主要な肥料輸入者である。

コートジは一度、無料もしくは一部補助のかたちで肥料や防カビ剤、殺虫剤を農家に与えた。しかしながら多くの農家から配分方法につき不満が出たため、当プログラムは立ち消えとなった。

農家に購入を強いると、多くの農家は肥料の使用を拒んだり、ブラックポッド病などの病害を防ぐために農薬を用いることがあるが、現在内陸部では肥料の売り上げが伸びている。「12 月には 20 トンの肥料の在庫があったが、現在は 3 トンしかない」と Soubre の町で店舗を経営する Bemba Diallo 氏。「通常は雨季で肥料の使用が多くなる 3 月、4 月が最もよく売れる」と話す。

売上の増大により農家の資金状況は改善されるとはいえ、その分、収穫量が減少している農家が抱えるジレンマは大きくなる。コートジのプランテーションの多くは老朽化しており、古木は生産量が減り、病害の被害にあいやすい。「私のプランテーションは 30 年経っている。当初は 15 トンから 17 トン収穫できていたが、病害により 7 トンから 8 トンに低下している」と Duekoue の西部に 21 ヘクタールのプランテーションをもつ Kambire Ouedraogo 氏。今シーズンは 5 トンの肥料等を購入し、来月の雨季のはじめから使用する予定にしている。

Soubre 近郊の Sebastien Oulai 氏は、2005 年は資金不足により、所有する 15 ヘクタールのプランテーションでの肥料の使用をやめたが、「生産量が落ちてきているので、2013 年は肥料を購入し、プランテーションに使用することにした」と語る。

5、中国のチョコレート市場、2019年までに43億ドルへ到達見込み(2/26)

中国のチョコレート市場は、2014年の27億ドルから2019年までに43億ドルにまで成長するとみられている、とHershey社。同社社長 Bert Alfonso氏はロイターに対し、都市部の人口増加と産業の成長による消費量拡大に需要が左右される、と語った。

彼はまた、同社商品が2015年には売上が35%増加し4億5千万ドルとなることを発表。これは同社の2014年のチョコレート製品の売上74億ドルのうち4.5%を占める。

Alfonso氏は、「中国におけるHershey社の速いカテゴリ成長が、消費者たちに受容されている」というニュースを引用し、「Shanghai Golden Monkeyに可能性を感じている」と話す。

この予測は、成長著しいアジアにおけるCargill社やOlam社のカカオ豆処理施設の拡大促進を期待させる。最近では、Hershey社はシンプルで分かりやすい原料、例えば現地農家のフレッシュミルクやカリフォルニア産ローストアーモンド、カカオ豆や砂糖等を使用する計画を発表した。



让·世·界·共·享·甜·美

《お問い合わせ先、配信希望または、停止のご連絡先》

株式会社 立花商店 東京支店 生田

TEL03-5785-3545 w-ikuta@tachibana-grp.co.jp